


I きんきゅうじ たいおう 緊急時の対応

I-1 かていようきんきゅうれんらくさきりすと 家庭用緊急連絡先リスト

<small>けいさつ</small> 警察		110
<small>かじ</small> 火事		119
<small>きゅうきゅうしゃ</small> 救急車		119
<small>い びょういん</small> よく行く病院		
<small>きんじょ びょういん</small> 近所の病院		
<small>がすも</small> ガス漏れ		
<small>すいどうしゅうりぎょうしゃ</small> 水道修理業者		
<small>もより かんさいでんりょく えいぎょうしょ</small> 最寄の関西電力の営業所		
<small>そうりょうじかん たいしかん</small> 総領事館・大使館		
<small>がっこう つと さき</small> 学校・勤め先		
<small>じちかい</small> 自治会など		

I-2 緊急事態（火事・急病・犯罪）

1. 火事（☎119・英語）

火事になったらすぐに近所の人に大声で知らせてください。建物内に火災報知器（非常ベル）があるときはすぐにボタンを押してください。電話で119番に電話して、落ち着いて火事だということ、あなたのいる場所を知らせてください。火や煙の回りが速いときは、すぐに安全な場所に逃げてください。

日本語での言い方の例

「火事です。〇〇（住所）の〇〇（名前）です。」

「〇〇（住所）の〇〇（名前）ですが、隣が火事です」

2. 急な病気・けがなど（☎119・英語も可）

突然の病気・けが等で自分で病院に行けないとき 119番に電話して救急車を呼び出すことができます。電話、救急車の利用は無料ですが、病院での治療費は必要です。また、救急車は症状や場所、時間帯により適当な病院を判断しますので自分で行き先を指定することができないこともあります。

また、薬品や毒物を間違えて飲んだときは、飲んだものの容器や説明書を持ってすぐに病院に行くか、救急車を呼んでください。飲んだあとの処置の方法は「119番」に電話をかけて聞くことができます。

日本語での言い方の例

「救急車をお願いします。〇〇（住所）の〇〇（名前）です。」

「〇〇（住所）の〇〇（名前）ですが、〇〇をけがしました」

「〇〇（住所）の〇〇（名前）ですが、〇〇が痛くて動けません」

「〇〇（住所）の〇〇（名前）ですが、血が出ています」

3. 犯罪被害（☎110・英語も可）

犯罪に巻き込まれたとき、目撃したときはすぐに110番に電話して警察に連絡してください。自宅や事務所に泥棒に入られたときは、現場をそのままにして110番に電話してください。

日本語での言い方の例

「助けてください」

「どろぼうです」

「すりにあいました」

「なぐられました」

つきまといや待ち伏せ、義務のない面会や交際の要求、乱暴な言動、無言電話などの被害を防止する「ストーカー規制法」があります。被害にあっていらっしゃる方は警察に相談してください。

【大阪府警察本部ストーカー110番】☎ 06-6937-2110

また、配偶者や恋人からの暴力も法律で禁止されています。大阪府女性相談センターでは、被害者の一時保護を行うとともに、暴力についての相談やカウンセリングなどを行っています。

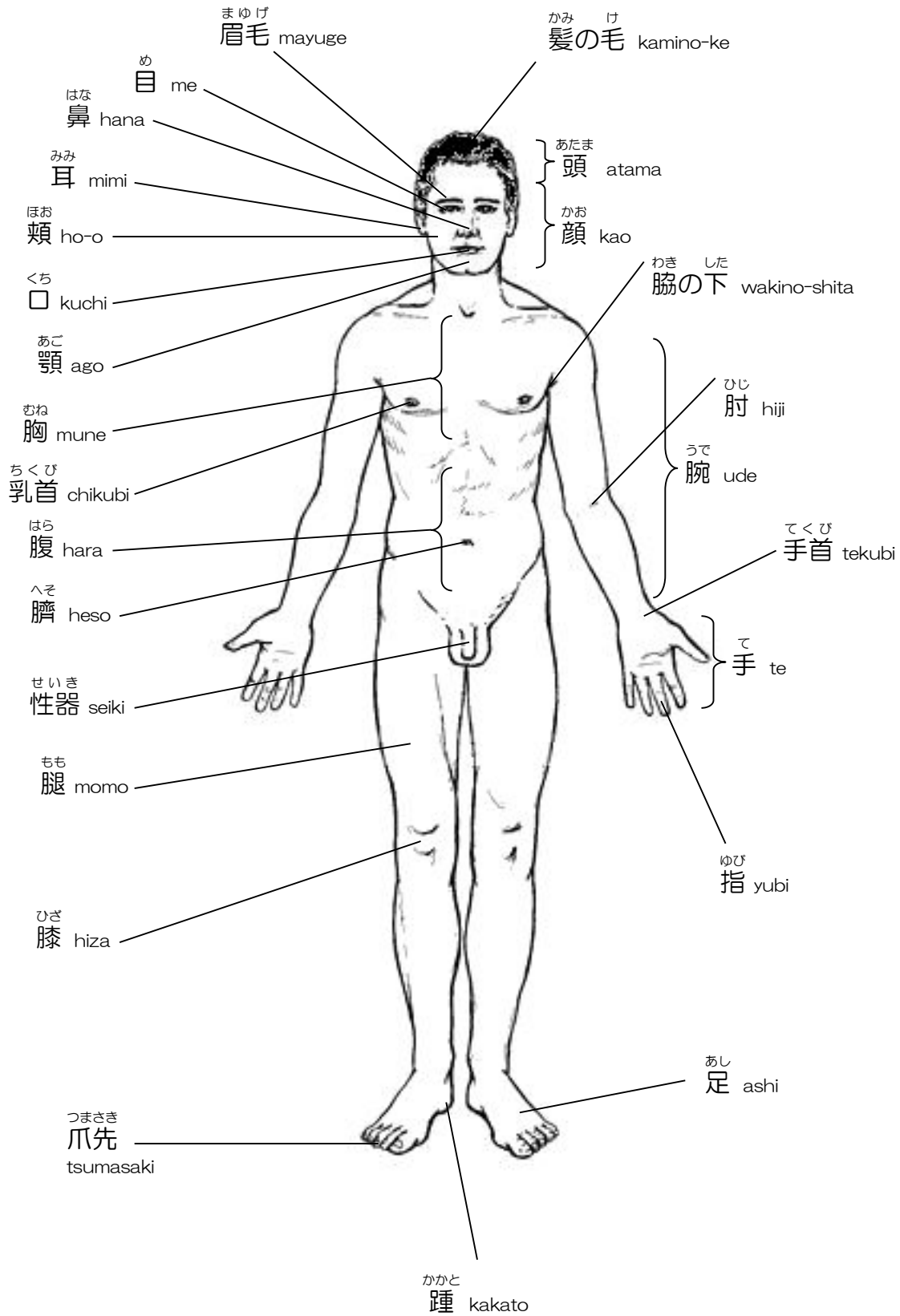
【大阪府女性相談センター】☎ 06-6949-6181

4. 通報について

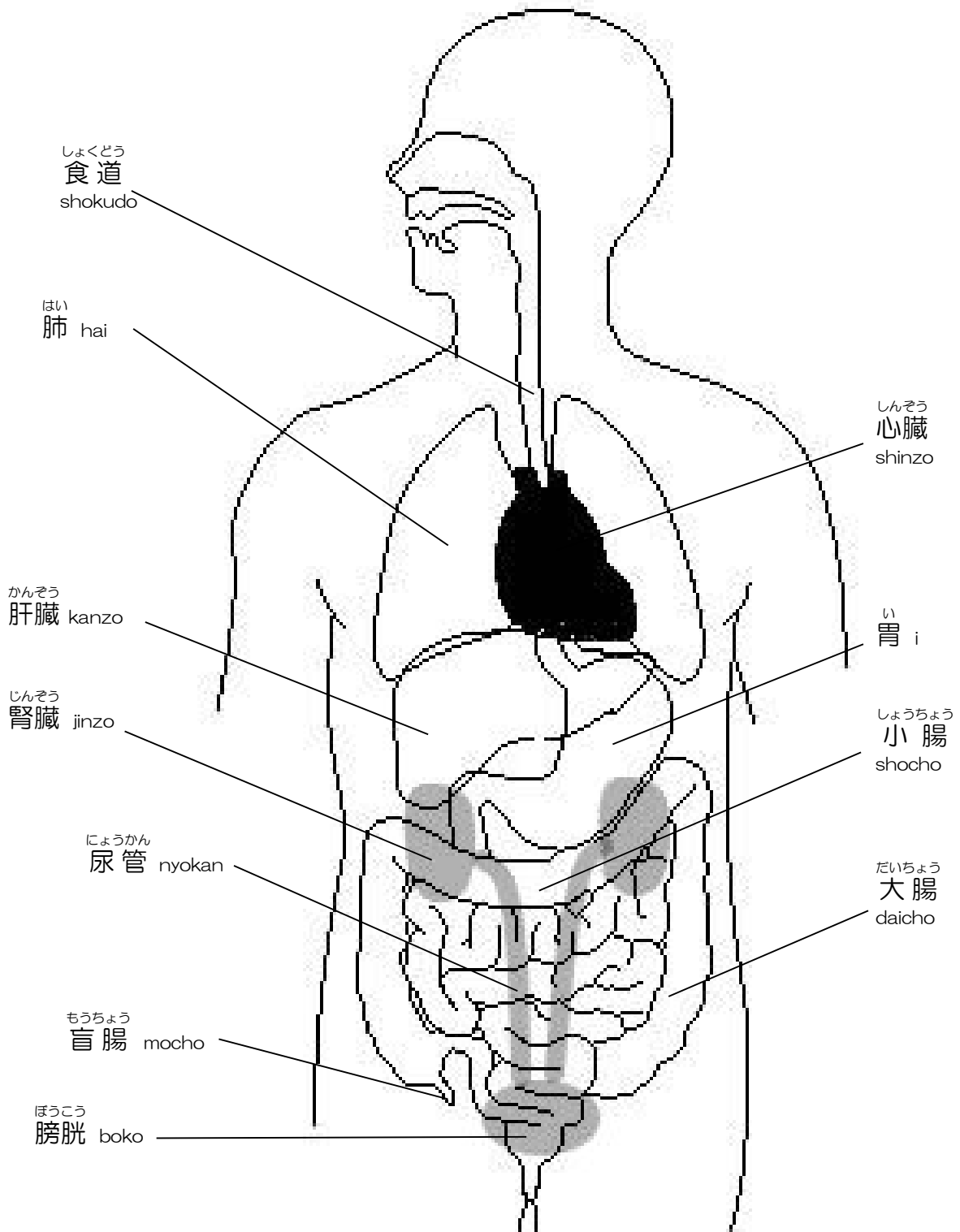
公衆電話からは110番、119番だけはお金がなくてもかけられます。受話器をとり電話機の前につけた赤いボタンを押してください。（一部「かけられない」or「使い方が違う」電話器もあります。）

また、携帯電話からもつながります。携帯電話の119または110を押してください。あなたのいる場所と携帯電話番号を必ず伝えて下さい。

からだ ぶ い
5. 体の部位



ないぞう
内臓



I-3 さいがい そな 災害への備え

1. 台風

台風は7月から10月に発生する暴風雨のことです。

被害の可能性

- 風に飛ばされた物にあたりけがをする。
- 雨による土砂崩れ、洪水。
- 家屋の浸水。
- 停電。
- 電気で水道の給水ポンプのモーターを動かしている建物では水が出なくなる。

台風がくることは気象情報で予想できますので、気象情報に注意してください。

台風に備える

- ラジオ・テレビ・インターネットなどからの気象情報に気を配り、台風がいつどこを通るかを知っておく。
- 雨風が強くなったら屋外には出ない。
- 飲料水、乾燥食品、懐中電灯、携帯ラジオなど非常用品を入れたバッグを準備する。
- 近くの避難場所を知っておく。

2. 地震

日本は世界でも地震の多い国です。地震になると、地面が大きく揺れ、家具が倒れたり、家屋が倒壊する被害がでることもあります。また、場合によっては津波を引き起こすこともあります。

地震が起きたら

- ① 家や建物の中にいたら・・・
 - テーブルなどの下に隠れて落ちてくる物から身を守りましょう。
 - 揺れがおさまったらガスコンロ、ストーブなどの全ての火を消し、ガスの元栓を閉めてください。
 - 屋外に通じるドアを開け、出口を確保します。
 - エレベーターを使ってはいけません。
- ② 外にいたら・・・落下物から頭を保護してください。ブロック塀のそばや軒下などの場所に立たないでください。建造物のない広場など安全なところに避難してください。
- ③ 自動車を運転していたら・・・慌てずにゆっくりと安全を確認しながら、車を道の端に寄せて停車します。一度揺れが終わっても余震が発生する場合がありますので注意してください。

日頃の備え

- 家具や本棚などには転倒防止用の金具や鎖を取り付けてください。
- 花瓶や割れやすいものを棚や、寝室の枕元に置かないでください。
- 飲料水、乾燥食品、懐中電灯、携帯ラジオなど非常用品を入れたバッグを準備してください。

3. 災害に関する情報の入手

FM COCOLO 76.5MHz
NHKラジオ第1放送 666KHz
NHK総合テレビ 1CH

4. 避難場所

避難所とは、災害時に避難する場所です。あらかじめ自分の住む地域の避難所を確認しておきましょう。

あなたの地域の避難所は：